

令和5年度 ともに未来を創る「くるめっ子」を育成する 屏水中学校プラン

《学校の教育目標》 ふるさとを愛し、ともに社会を生き抜く力を身につけた生徒の育成

〈本年度 学校の重点目標〉

・行動目標「屏水のあたりまえ」を徹底し、生きる力(学習理解力・豊かな感性・確かな人権認識)を育成

基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、日常生活や学習場面に生かすことができる。

【つくる力】

自分の思いを語り、なかまの思いを受け止める場を設定する中で、互いの考えを取り入れながら協働できる。

【つなぐ力】

夢や希望の実現に向けて、自ら学ぶ意欲、最後まで挑戦する気持ち、自律心を持ち続ける。

【つらぬく力】

学びをつなぐ授業

- ①学力向上プラン「視点2」に記載
- ②屏水スタイルの学びを取り入れ、個に応じた学習指導や授業づくりの日常化を図る。(全教科・毎時間)
【成果指標】「わかった」「できた」という達成感・成就感を感じる生徒の評定3.5以上:4段階評定尺度法
- ③教科の特性に応じてICTを効果的に活用し、個別最適な学び・協同的な学びを目指す。(全教科・単元毎)
- ④教員のスキルアップ研修の実施(毎学期)、少人数授業及びALTを効果的に活用して伝え合う活動・オールイングリッシュ活動の充実を図る。(毎時間)

笑顔の先生

- ①学力向上プラン「視点4」に記載
- ②会議の目的と参加人数・時間・回数・方法等の設定を見直し、改善を図る。(学期1回)

【成果指標】「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」と答える生徒の割合が85%以上。

協働する学校・家庭・地域

- ①地域学校協議会プラン「提言①」参照
- ②地域学校協議会プラン「提言②」参照
- ③学力向上プラン「視点4」に記載

楽しい学校

- ①「屏水アクション3」の対応を徹底する。(毎日)いじめ・不登校対策委員会(週1回)、特別支援教育委員会(週1回)で、未然防止策、ケースに応じた対応策を検討し全職員で共有・実践する。(月1回)学校生活の状況や日常の悩みを把握する生活アンケート及び確実な集約、生徒・教師の2者面談を実施する。(学期1回)
【成果指標】不登校生徒数5名以下、いじめの認知件数昨年度比10%増。
- ②道徳教育・人権学習を通して「自他の生命を尊重する意識と態度」、「あらゆる差別をなくしていく意識と態度」を高める取り組みを行う。(毎学期)
- ③自分や友達の活動のよさを振り返り、改善を図る帰りの会活動を充実する。(毎日)

【体力向上】

- ①保健体育科の授業における筋力・体幹アップトレーニングを実施する。(毎時間)
- ②屏水中体力アッププロジェクトを推進する。
〔「1校1取組」運動〕
・体力アップシート活用率:目標80%

【あいさつ・そうじ・自学自習】

- ①「朝のあいさつ運動」に全生徒が参加する。(毎学期)
- ②「予鈴での移動」「短時間集中清掃」を実施し、美化委員会による評価活動を実施する。(毎日・学期1回)
- ③学力向上プラン「視点3」に記載

基盤として大切にすること(本年度の重点)

- 【人権・同和教育】 教職員研修の充実、人権・同和教育の深化・充実、反差別の集団作り。[要綱P74~参照]
- 【特別支援教育】 個別の教育支援計画・指導計画を活用し、特別支援コーディネーターを中心に全教職員による組織的・協働的な支援を行う。 [要綱P93~参照]
- 【キャリア教育】 キャリアパスポートを活用し、肯定的自己理解と自己有用感を高める。 [要綱P95~参照]